

日本共産党横浜市会議員団 インターンシップの取り組み

議員の仕事を体験してもらい市政に関心を

市会議員がどんな仕事をしているのか、横浜市会にはどんな役割があるのか等、若い世代に知ってもらうことを目的に市会議員の仕事を体験できるインターンシップの受け入れを実施。内容は学生の興味関心に沿えるよう、「まちづくりコース」と「医療・福祉コース」の2つを準備。各分野の横浜市の施策や事業について、調査等を行う市会議員（日本共産党議員）の日常的な仕事を体験してもらった内容です。インターンシップの呼びかけは民青同盟神奈川県委員会の協力のもと、市内の大学門前等でチラシ配布。建築系の学科で学ぶ2人の学生さんから「まちづくりコース」の申し込みがあったので実施しました。

実施日①：2024年8月5日、6日

参加学生：市内大学で建築分野を学ぶKさん（2年生）

1日目

①10：00～ オリエンテーション



- ・インターンシップ2日のプログラムの確認
- ・自己紹介やインターンシップの目的等の交流

②10：15～ ②市政とまちづくり



- ・古谷やすひこ党市議団団長、党市議団事務局より、

横浜市会の特徴や議員役割についてレクチャー

- ・前市会議員の岩崎さんより、横浜駅周辺（特に地下街）の災害リスクと海拔表示設置の取り組みの紹介

③11：30～ 市会議員の仕事と市会機能について



- ・議事堂や市会棟の主な機能等の見学

④14：00～ 「のげやまインクルーシブ構想」

施設・現状調査



- ・横浜中央図書館内で事業全体についてヒアリング



- ・中央図書館のこども図書エリア



・野毛山動物園内を視察

2日目

① 10:00～ 区役所・土木事務所の視察



・鶴見区役所の施設見学



・土木事務所機能の視察



・二つ池公園
宅地にある水辺を守り生かすかの事例



・花月園公園
元競輪場施設が市民利用施設になるまで事例



・鶴見川人道橋
川に人道橋を架けた事例

② 13:30～15:30 市民要望の高いものや改善されたポイントの現地視察



・まちのはらっぱ
宅地の真ん中にある緑地をどう守るか事例



生見尾の踏切
人道跨線橋の設置要求している踏切の視察

参加学生 K さんの感想

①市会議員の仕事と市役所機能

大学生での社会見学のようなものになっていた。建築学科としては建物の構造的なものにも興味があった。

②市政とまちづくり

政策実現には多大な時間がかかることを知った。いかにその町のことを知っているかということが議員さんには問われている気がした。

③のげやまインクルーシブ構想レクチャー&質疑
着想段階のプロジェクトの一端を見ることで、自分事として考えることができた。議員の仕事の一つで行政のチェックという今まで知らなかった面を見れたのが特によかった。

④鶴見区役所施設見学&土木事務所機能の視察

区役所と土木事務所の空気感の違いを感じた。土木は建築とは完全に一致するわけではないがかなり仕事を楽しんでいることが伝わった。

⑤鶴見区内の市民からのまちづくり要望改善ポイント施設

市民の声を反映するにはとてつもない労力が存在することを知った。それでうまく言っている事例もあれば事情が複雑で一挙に解決が難しいものもありやりがいはいはありそうだった。

⑥全体的に

充実した二日間でした。やはり普段は見れない一面や知らなかった仕事、実際の仕事風景を見れるのは貴重で肌で感じて心に残りやすかったです。ありがとうございました。

実施日②：2024年8月13日、14日

参加学生：市内大学で建築分野を学ぶ M さん(2年生)

1日目 10:30~オリエンテーション



- ・インターンシップ2日のプログラムの確認
- ・自己紹介やインターンシップの目的等の交流
- ・市議会機能について(市会議事堂見学)

市会議員の仕事や役割について

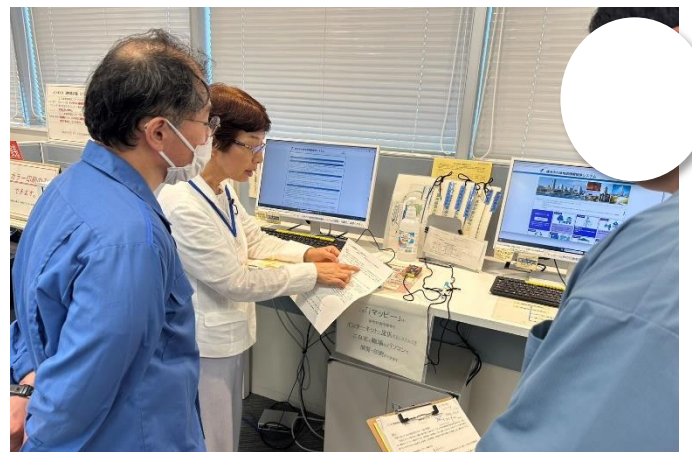
- ・党市議団事務局より、横浜市会の特徴や議員役割について
- ・議会局作成の「施設ができるまで」動画視聴
- ・白井まさ子党市議団副団長より、議員の仕事、特

に力を入れていること、実績など紹介

議員室の機能紹介



よこはま建築情報センター(市庁舎2階)機能視察



- ・情報取得の仕方や機能、役割等のヒアリング

横浜市庁舎の地中熱利用の視察



・地熱利用が市庁舎1階アトリウムなどの冷却に活用されている

地下にある地熱利用の機械室内を視察



横浜市役所の免震構造を視察



市役所の省エネ機能全体についてのヒアリング



2日目に視察する団地再生事業の事前説明を受ける



議員図書館の視察と調査体験



2日目

10:30～ 団地再生に向けた事業の視察



- ・磯子区洋光台周辺地区の持続可能な住宅地推進プロジェクト
中央広場、まちまど、シェアベース、団地集会所、屋外広場などを視察 現地取り組みヒアリング

マンション内にある備蓄庫



13:30～

防災対策に力を入れているマンションの視察



磯子区にあるマンションの防災対策（災害対策物資の保管状況等）の現地視察

防災用「井戸」も設置されている。



参加学生 M さんの感想 (一部)

●一日目 午前中

インターンのプログラム詳細について説明を受けた後、議員の白井さん・事務局のみなさんと自己紹介タイムを行った。要求実現のためには約 10 年という大きなスパンで考えなければならないこともあり、すぐできそうなのに中々動いて貰えないもどかしさがあると思った。それでも実現して欲しいから言い続ける議員さんの忍耐力は相当なものだと思った。横浜市会議事堂は想像より明るい雰囲気のところだった。席は若手ほど前へ、ベテランほど後ろへというルールがあるが傍聴席から後ろの席が見えないことが居眠り議員を生み出してしまっているのではないかと思った。あくまで「傍聴席」であって「観覧席」ではないから後ろの席が見えるかどうかよりも発言者がよく見えるかどうか重点が置かれていることがわかった。議事堂の在り方を



同マンションの防災委員の方からもヒアリング

考えるきっかけになった。

よこはま建築情報センター（市庁舎2階）、横浜市庁舎の地中熱利用と防災対策について

よこはま建築情報センターは非常に便利な施設であることがわかった。家の問題があった時にどこに相談すればいいかわからない人の方が多いと思う。市役所は書類を提出したり証明を貰ったりする場所というイメージが強く、相談相手という認識はほぼなかった。特にこのよこはま建築情報センターでは建築局や水道局、道路局などが集合していて、受付で担当に割り振りをしているので、とりあえず行けばなんとかなるといふ優れた場所だと思う。いろんな局をタライ回しにされて結局解決しなかったという話も聞いたことがある。また事業者も気軽に利用でき、1回でたくさんの情報を集められる点で便利だと感じた。

横浜市庁舎の技術は大変素晴らしかった。アトリウムは3階吹き抜けで非常に大きな空間を形成しているが、その全体を空調管理する必要はなく人が滞留する1階部分だけ空調を効かせるコストカット方法は興味深かった。地下水が流れることで地下熱を利用して周りの生態系には影響がほとんどないことを聞いたが、横浜市庁舎以外にも応用できるかどうかは調査してみないとわからないし、地下熱の管を入れるために掘り返すとなると莫大なお金がかかるので、現存する建物に対して適用させることは難しいとわかった。

地下の機械室に向かうエレベーターや階段で免震ゴムを見ることが出来た。エレベーターやエスカレーターはどうなっているのかと疑問に思って質問したが、エレベーターは同じように揺れが治まったら直線に戻るよう設計されており、エスカレーターは下側に固定されていて、上側の床が無くなるように設計され、工夫を直に感じる事が出来た。

●2日目

団地再生事業 磯子区洋光台周辺地区について

洋光台団地では団地再生として「新しい人を呼び込む」ことに重点を置いていることがわかった。中

央広場は隈研吾・佐藤可士和という人選が若い層をターゲットにしてそうだったと思った。テラスの屋根が元の商店街の屋根をモチーフにしているのは面白かった。高齢者・子育て世帯が多い団地なので、エレベーターが付いておらず実験的でまだ一棟しかついていないのは不便だったと思った。大学の授業では洋光台団地の持続可能性について評価をしたが、その調査で見られなかった側面が知れて貴重な経験になった。

防災力向上の取り組みマンションについて

磯子区にある防災対策に力を入れているマンションは素晴らしかった。一言で表すなら、異空間。駅を出て徒歩数分、目の前に立ちのぼる巨大な崖。その上にマンションがポツポツと…。タイムトンネルのような穴を抜けて60m級のエレベーターに乗れば目の前には東京湾が…!!マンションがひとつの街のような非常に大きな空間で周りの住宅街とは異色を放っていて本当に異空間に来たかのような心躍る感覚があった。防災対策がしっかりされているマンションということで見学させて頂き、独自の防災委員会の方からお話を伺った。独自の防災マニュアルや防災井戸、マンホールトイレ、災害風呂など、防災意識の高さにただただ感動した。ただ、マンションの棟ごとのコミュニティは現在はないそうで、シティという単位からもっと細かい繋がりがあってもいいと仰っていた。隣の部屋に住んでいるのが誰かわからない…。小さいコミュニティと大きいコミュニティを複雑に連携させながら対処していかなければならないと思った。

2日間を通して

2つの視察を通して先進的な事例を見させて頂いたが、これを全国に広めるのはやや難しいと感じた。なぜなら、地熱利用は地下水が無いとできないし、防災対策はコストがかなりかかるためである。必要なエッセンスを取り出し、色を変え形を変えながら既存の建築、新しい建築に取り込んでいければいいなどと思った。

日本共産党
横浜市会議員
インターンシップ
募集中

市会議員の仕事を経験してみませんか？

まちづくりコース
横浜市のまちづくり施
策に関わる調査・質問
づくりなど

共通：市内施設
への視察、住民
への市政報告

介護・医療コース
横浜市の福祉・医療分
野の施策に関わる調
査・質問づくりなど

【開催概要】

2024年9月の平日の2日間、
もしくは5日間。

議会日程と希望者日程を
すり合わせて決めます。
気軽に相談してください。

2DAY OR 5DAY

【問い合わせ先】

日本共産党横浜市議団

TEL: 045-671-3032

FAX: 045-641-7100

▶WEBメールは
こちらから



まちづくりコースの主な項目

- ①まちづくりと横浜市政（座学）
まちづくりに市政がどのような役割をはたしているのか、概要とポイント等を学びます。
- ②まちづくりに関わる議案の調査体験（ヒアリング）
行政から市議会に提案されている議案等について、担当局のヒアリングなど調査の体験。
- ③視察体験
道路や公園などを管理する土木事務所など行政機能の現場を見て調査する視察の体験
- ④まちづくり計画の住民説明会などの参加（インターンシップ中に住民説明があれば実施）
- ⑤市会議員の役割、市政報告会や住民からの市政要望聞き取りの取り組みの体験

医療・介護コースの主な項目

- ①医療・介護と横浜市政(座学)
横浜市の医療・介護分野の施策の概要やポイントなどを学びます。
- ②医療・介護に関わる議案の調査体験（ヒアリング）
行政から市議会に提案されている議案等について、担当局のヒアリングなど調査の体験。
- ③視察体験
市内の病院や介護施設を訪ね、事業内容や市政への要望など聞き取りを行う視察体験。
- ④市会議員の役割、市政報告会や住民からの市政要望聞き取りの取り組みの体験。

【申し込み手順】

①氏名、大学名（学部学科名含む）、住所、連絡先、希望のコースと日程をお知らせください。

メール：info@jcp-yokohama.com

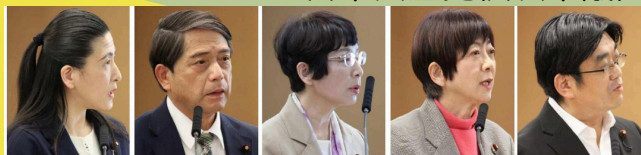
電話：045-671-3032

②日程や内容相談を行い実施決定

③実施

④後日感想文を出してください。

日本共産党横浜市議団



宇佐美さやか

大和田あきお

白井まさ子

みわ智恵美

古谷やすひこ



市議団HP